こもつちは似かよるといふこともあむせうにおもへど左右に葉をとり
ひとるものともに此解文はいひたれども折しろき羽之西園寺
公經公の百首中にもはしたかれこもつちそえの一ととりたるもとし年
折しろの羽や三ノ句のうへは飛く又一とまり飛るもとやおきて
一ととりきるねと云る来べし薦趣がくこそあれどおもむきに
かるうは飛くは飛るを云来べし四ノ句うへはそえの鋸案べし
ともおなじけれども君侯ハこもつちの如くに羽をそらせる姿かきく
さしまても定むべしと助けての弱ひき
龍山公鷹百首におひたせむる小鷹のとりれむらくらこもつち
そえの羽やつゝみつゝむ